

2023年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
52301	保育内容総論 The childcare content's general remarks	石原美菜子	✓	専門	1	必修	1年後期

**科目の概要**

幼稚園、保育所における、保育の基本や「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」に示された保育内容を総合的に学ぶ。また、保育を実践していくための手がかりの思想と歴史の変遷について理解し、保育の多様な展開について具体的に学ぶことで、保育を総合的に理解する。  
★幼稚園・保育所で保育者としての実務経験があり、保育者としての専門的知識や技術を活かした演習を行う。

学修内容	到達目標
① 保育の基本と保育内容について理解する。 ② 保育内容の歴史の変遷について理解する。 ③ 保育内容と子ども理解について理解する。 ④ 保育の基本を踏まえた保育内容の展開について理解する。 ⑤ 保育の多様な展開を理解する。	① 保育所保育指針における「保育の目標」、「子どもの発達」、「保育の内容」を関連付けて保育内容を理解するとともに、保育指針の各章のつながりを読み取り、保育の全体的な構造を理解する。 ② 保育内容の歴史の変遷について学び、保育内容について理解する。 ③ 子どもや子ども集団の発達の特性や発達過程を踏まえ、観察や記録の観点を習得し、保育内容と子ども理解とのかかわりについて学ぶ。 ④ 子どもの生活全体を通して、養護（生命の保持、情緒の安定）と教育（健康・人間関係・環境・言葉・表現）が一体的に展開することを具体的な保育実践につなげて理解する。 ⑤ 保育の多様な展開について具体的に理解する。

**学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素**      **学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例**

前に踏み出す力	主体性	授業以外の時間を使い、課題について調べたことを自分なりに整理することができる。
	働きかけ力	疑問等がある際には、積極的に質問をし解決することができる。
	実行力	与えられた課題を期限までに仕上げることができる。
考え抜く力	課題発見力	保育に関する様々な知識を新聞やニュースなどでも習得する。
	計画力	課題提出等は、計画性を持って取り組むことができる。
	創造力	固定観念に捉われることなく広い分野から情報を収集し、保育の多様な展開について幅広く考えることができる。
チームで働く力	発信力	自分が理解したことを他者にわかりやすく表現できる。
	傾聴力	他者の話を聞く中で、自分なりの意見や考えとを比較し再構築できる、
	柔軟性	他者の考えや意見を受け入れ、異なる価値観を尊重し柔軟に受け入れることができる。
	状況把握力	自分ができることだけでなく相手のことも考え目標に向かって協力し合うことができる。
	規律性	遅刻、無断欠席をせず、授業が円滑に進行するようにルールを守ることができる。
	ストレスコントロール力	ストレスを感じた際には、一旦その事柄から離れ深呼吸をし重く受け止めないようにする。また、ストレスの原因を見つけて、自力もしくは他人に助けを求めて取り除くことができる。

**テキスト及び参考文献**

・参考書：幼稚園教育要領解説書 保育所保育指針解説書 幼保連携型認定こども園教育保育要領解説書  
 ・テキスト：実践を創造する 保育内容総論 (株)みらい

**他科目との関連、資格との関連**

他科目との関連：保育原理、保育内容表現・言葉・人間関係・健康・環境  
 関連する資格：保育士 (准学校心理士)

学修上の助言	受講生とのルール
・保育内容総論は、他の科目と重複している為、分けて考えず双方を共に学んでいく。 ・保育士として現場を想定し保育観を構築できるよう努めること。 ・疑問に思うことは早めに質問し理解を深めるようにすること。	・保育士としてあるべき姿を理解し、講義中はしっかりと意志表示をし受講してください。 ・講義中の態度、睡眠・私語・飲食・化粧は学ぶ意欲がないとみなし、退室となった場合には欠席とみなすことがあります。 ・予習・復習をして授業に臨み理解を深めましょう。 ・携帯電話や私物など講義に必要な物はカバンの中に入れてください。

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント		
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①		<p>・園で展開される保育内容にはどのようなものがあるのか、それは子どもの発達にとってどのような意義をもつのか、また、個々の保育内容はどのような方法によって実践されるのかについてを理解しているかどうかを評価する。</p> <p>・到達目標の①②③④⑤に対応して、保育の基本概念や語句の理解、自身の見解を論理的な文章で論じているかを評価する。</p> <p>・保育士としての心構えをしっかりと理解できているかどうかを評価する。</p> <p>・多様な保育ニーズについてテーマを決め、テーマに沿った内容を調べて発表をする。</p> <p>・各自ノート作成をし、各章ごとに学んだことをしっかりとまとめ、大事なポイントを発表する。</p> <p>・保育現場で役に立つ制作等を考え発表する。</p> <p>主体性：積極的に授業に取り組むことができる                      実行力：保育者の役割を真剣に考えることができる                      課題発見力：問いかけに対して取り組みながら、様々な視点から保育をとらえることができる。                      創造力：保育の多様な展開について調べ、発表することができる                      発信力：意見を述べたり、発表したりできる。                      傾聴力：話を聴いたり、ノートを取ったり学ぶ姿勢ができています。                      規律性：グループワークや課題提出日など、授業が円滑に進行するようにルールを守ることができる。</p>	
				②			
				③			
				④			
				⑤			
	平常評価	小テスト		30	①		✓
					②		✓
					③		✓
					④		✓
					⑤		✓
		レポート		20	①		✓
					②		✓
					③		✓
					④		✓
					⑤		✓
		成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）		40	①		✓
					②		✓
					③		✓
					④		✓
					⑤		✓
学修行動	社会人基礎力（学修態度）		10	①	✓		
				②	✓		
				③	✓		
				④	✓		
				⑤	✓		
総合評価割合		100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
達成目標①から⑤について、テキスト以外の文献等も使い、課題について主体的に取り組むことができる。さらに、レポートにおいて、保育の基本概念や語句の理解、自身の見解を論理的な文章で論じ、グループワークでは、チームで働く力が大いに発揮できている。また、提出物の期限を守り、学ぶ意欲・講義内での発言等において、発信力を意識した積極的な発言を心がけている。 総合評価 90点以上 S(秀) 89点～80点 A(優)	達成目標①から⑤について、テキスト以外の文献等も使い、課題について主体的に取り組むことができる。さらに、レポートにおいて、保育の基本概念や語句の理解、自身の見解を論理的な文章で論じ、グループワークでは、チームで働く力が発揮できている。また、課題提出ができ、授業内での発言も積極的である。 総合評価 79点～70点 B(良) 69点～60点 C(可)

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	オリエンテーション・保育内容を捉える 第1章 子どもを取り巻く環境の変化とこれからの保育内容・環境と子どもの発達との関係について学ぶ。	自己紹介 質疑応答 講義	子どもの発達を見据え、どのような点を考慮して保育をしていくべきなのか考えることができる。	(予習) テキスト第1章を読んで授業に臨む。 (復習) 保育内容・環境と子どもの発達との関係についてまとめる。	45	働きかけ力 創造力 傾聴力 規律性
2	第2章 保育所・幼稚園・認定こども園の役割 ・それぞれの役割について理解する。	講義 実習での質問に対してフィードバックする	保育所や保育者の役割について、記述することができる。	(予習) テキスト第2章を読んで授業に臨む。 (復習) 保育実習を振り返り、記憶に残っている事例をまとめる。	45	主体性 働きかけ力 課題発見力 創造力 傾聴力 規律性
3	第3章 保育所・幼稚園・認定こども園の保育内容 ・それぞれの保育内容について理解する。	講義 本日の学修について質疑応答しフィードバックする。	それぞれの保育内容について述べるができる。	(予習) テキスト第3章を読んで授業に臨む。 (復習) 内容についてプリントにまとめる。	45	主体性 働きかけ力 課題発見力 創造力 傾聴力 規律性
4	第4章 保育内容を展開するプロセス ・全体的な計画について学び その他の保育の計画について学ぶ。	講義 本日の学修について質疑応答しフィードバックする。	大小様々な種類の計画について知り、実際に書いてみる。	(予習) テキスト第4章を読んで授業に臨む。 (復習) 様々な種類の計画について実際に書いたものの考察をする。	45	主体性 働きかけ力 課題発見力 創造力 傾聴力 規律性
5	第5章 乳児(1歳未満)の保育内容 ・1歳未満児の保育の内容のポイントについて学修する。	講義 グループ講義 本日の学修について質疑応答しフィードバックする。	養護と教育が一体的な展開について具体的に考えることができる。	(予習) テキスト第5章を読んで授業に臨む。 (復習) 保育実習を振り返り、特に1歳児未満児保育で記憶に残っている事例をまとめる。	45	主体性 働きかけ力 課題発見力 創造力 傾聴力 規律性
6	第6章 1・2歳児の保育内容 ・1・2歳児における保育の内容のポイントについて学修する。	講義 グループ討議 本日の学修について質疑応答しフィードバックする。	保育所保育指針を参考にしながら、遊びのなかで経験する内容について考えることができる。	(予習) テキスト第6章を読んで授業に臨む。 (復習) テキストを参考にし、指導案を考え、作成する。	45	主体性 働きかけ力 課題発見力 創造力 傾聴力 規律性
7	第7章 3・4・5歳児の保育内容 3・4・5歳児における保育の内容のポイントについて学修する。	講義 グループ討議 本日の学修について質疑応答しフィードバックする。	テキストを参考にし、指導案を作成する。	(予習) テキスト第7章を読んで授業に臨む。 (復習) それぞれの年齢における事例と指導案を作成する。	45	主体性 働きかけ力 課題発見力 創造力 傾聴力 規律性
8	第8章 就学前教育と初等教育を接続する保育内容 ・就学前教育と初等教育の接続の意義を考える。	講義 グループ討議 指導案についてのフィードバックする。	連携の必要性を理解することができる。	(予習) テキスト第8章を読んで授業に臨む。 (復習) それぞれの年齢における事例と指導案を作成する。	45	主体性 働きかけ力 課題発見力 創造力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	第9章 異年齢児の保育内容 ・異年齢保育の意義や 保育内容のポイントを 学修する。保育の事例 と考察について学修す る。	講義 グループ討議 本日の学修について質 疑応答しフィードバッ クする。	異年齢保育、統合保育 について関わりなどを 学ぶ。	(予習) テキスト第9章を読ん で授業に臨む。 (復習) 異年齢の保育の様々な 事例をまとめる。	45	主体性 働きかけ 力 課題発 見力 創造力 傾聴力 規律性
10	第10章 子育て支援を創造する 保育内容 ・なぜ子育て支援が必 要になったのかを考え る。	講義 グループ討議 本日の学修について質 疑応答しフィードバッ クする。	グループに分かれ、自 分の考えとグループメ ンバーの考えを交換 し、話し合うことがで きる。	(予習) テキスト第10章を読 んで授業に臨む。 (復習) テキストを読み、自分 の考えをまとめる。	45	主体性 働きかけ 力 課題発 見力 創造力 傾聴力 規律性
11	第11章 地域に開かれた保育 所・幼稚園等を創造す る保育内容 ・乳幼児にとって、地 域社会がどのような意 味をもっているかにつ いて考える。	講義 グループ討議 本日の学修について質 疑応答しフィードバッ クする。	グループに分かれ、自 分の考えとグループメ ンバーの考えを交換 し、話し合うことがで きる。	(予習) テキスト第11章を読ん で授業に臨む。 (復習) 幼稚園や保育所の制度 や行政の動きについて 調べまとめる。	45	主体性 働きかけ 力 課題発 見力 創造力 傾聴力 規律性
12	第12章 わが国における保育内 容の変換・戦前、戦後 の保育について学ぶ。	講義 本日の学修について質 疑応答しフィードバッ クする。	わが国の保育内容の歴 史的流れを知り、どの ように変化してきたの かを理解することがで きる。	(予習) テキスト第12章を読 んで授業に臨む。 (復習) 日本の保育、世界で行 われている保育につ いて調べまとめる。	45	主体性 働きかけ 力 実行力 課題発 見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
13	第13章 諸外国の保育所・幼稚 園の保育内容・世界の 保育の動向について興 味をもちその違いを知 る。	講義 諸外国の教育方法で使用 している教具に触れる(モン テッソーリ教育・シュタイ ナー教育など) DVD鑑賞『Edison'sDay』エ ジソンくん的一天 本日の学修について質疑 応答しフィードバックする。	世界の教育・保育を知 ることで、日本の保育 の特徴は何かを考 えることができる。	(予習) テキスト第13章を読 んで授業に臨む。 (復習) 世界の教育・保育につ いての違いをまと める。	45	主体性 働きかけ 力 実行力 課題発 見力 発信力 傾聴力 規律性
14	第14章 これからの保育内容の 課題 多様な保育ニーズにつ いて理解し、自分たち ができることを考え る。	講義 多様な保育ニーズにつ いて考える。 小テスト・レポート 本日の学修について質 疑応答しフィードバッ クする。	多様な保育ニーズにつ いてテーマを決め、 テーマに沿った内容を 調べ発表することがで きる。	(予習) テキスト第14章を読 んで授業に臨む。 (復習) 今後の保育内容の課題 は何かをノートにまと める。	45	主体性 働きかけ 力 実行力 課題発 見力 発信力 傾聴力 規律性
15	保育内容総論まとめ	講義 全体についての質問の フィードバック	今後の保育内容の課題 について理解する。	(予習) テキスト・ノートを見 直し疑問を書き出す。 (復習) フィードバックのプリ ントをもとに理解を深 める。	45	主体性 働きかけ 力 実行力 課題発 見力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力